

気仙沼市立病院

ヴァイオリンコンサート

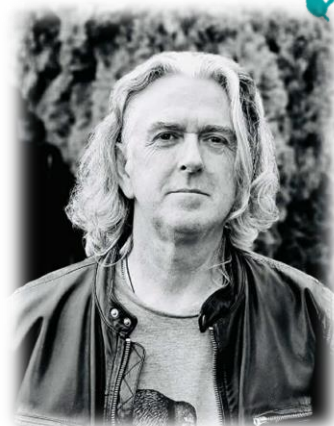
がん患者さんやご家族の心の安らぎを願い、院内にてコンサートを開催します



鹿嶋 静 氏



岡本 直毅 氏



STEPHEN SMALL 氏



日 時 2025 年 10 月 21 日 (火) 午後 2 時～3 時

会 場 気仙沼市立病院 1 階 エントランスホール

申 込 申込不要 (どなたでも観覧自由です)

問合せ 気仙沼市立病院 総合患者支援センター

☎22-7100 内線 5243/5229



主催 気仙沼市立病院 共催 がん患者会 hinami

出演者プロフィール

■鹿嶋 静（かしま しずか）

宮城県東松島市出身。ヴァイオリニスト、シンガーソングライター、プロデューサー、東松島ふるさと大使
東松島地域おこし協力隊。

クラシック楽器の概念を覆し、ジャンルを超えた演奏とパフォーマンスで人々を魅了する。

5歳からヴァイオリンを始め、18歳からヴァイオリニストとして活動。

バンドでメジャーデビューし、テレビ東京「NARUTO-ナルト」のエンディングテーマ起用など経た後、ソロ活動を開始。

2008年からグラミー賞受賞の喜多朗ワールドツアーメンバーに抜擢され、現在もソリストとして演奏している。2023年5月には、エヴァンゲリオンのテーマ曲歌唱の高橋洋子のワンマンライブにゲスト出演している。また、2011年からふるさと東松島市を芸術で応援するプロジェクトを現在まで継続して行っており、能登半島地震や洪水でも支援活動を行っている。

演奏参加してきたアーティスト：喜多朗/高橋洋子/坂本サトル/渡瀬マキ/LINDBERG/新羅慎二（若旦那）/
湘南乃風/MINMI 他

■岡本 直毅（おかもと なおき）

フレキシブルプレイヤー。ヴァイオリンからコントラバスまで、大小さまざまな楽器を操る。

早稲田大学理工学部建築学科卒業および国際情報通信研究科修了（音楽コミュニケーション学）。

ヴァイオリンを福山陽子氏、イタリア式コントラバス運弓法を斎藤輝彦氏、ヴィオラダガンバを折原麻美氏、朝鮮伝統打楽を関榮治氏の各氏に師事。

複数のオーケストラにおいてコンサートマスター、ヴィオラ及びコントラバスで首席奏者をつとめる。

学生、社会人オーケストラの演奏指導歴 25 年。

■STEPHEN SMALL（スティーブン スモール）

ニュージーランド出身。ピアニスト、プロデューサー、作曲家。

DOMO MUSIC GROUPE(USA)のアーティスト。

ニューエイジ音楽の先駆者、喜多朗（グラミー賞やゴールデングローブ賞を受賞）の音楽監督として知られ、グラミー賞にノミネートされた「KITARO SYMPHONY LIVE IN ISTANBUL」を含む複数のプロジェクトで活躍。喜多朗ワールドツアーメンバーでもある。

また、シンガポール交響楽団やロシアフィルハーモニー管弦楽団といった国際的な団体とも共演。ロンドン交響楽団とアビー・ロード・スタジオでの録音を手掛けるなど、その才能は世界中で評価されている。

伝統的な民謡や現代音楽の架け橋としての役割を果たしており、彼の作品はペルシャ民謡からマオリ民謡、マレーシアの民謡に至るまで、幅広いジャンルに渡る。

さらに現在 SEA INSTITUTE で教授、学科長としての肩書を持ち、学者としては、芸術学修士（音楽学）、音楽博士、音楽芸術博士の資格を持つ。